

# 「グーグル地図」による 福島第一原子力発電所 (1)



(図-3) 福島第一原子力発電所全体写真  
1号機の原子建屋覆いが良く見える

画像 ©2013 DigitalGlobe, 地図データ ©2013 ZENRIN 100 m

# 「グーグル地図」による 福島第一原子力発電所 (2)



(図-4) 福島第一原子力発電所汚染水タンク

画像 ©2013 DigitalGlobe 地図データ ©2013 ZENRIN 50 m

## 屋外に晒された重要施設に対するラジコン飛行機の脅威

最近のラジコン技術（**模型飛行機を無線で操縦するもの**）は格段の進歩を遂げ、**テロ行為にも十分活用**できるのではないかと懸念する。

「ラジコン航空機の脅威」 核物質管理学会日本支部事務局長 長部 猛

原子力施設に対する空中からのテロの脅威の一つとして**技術革新が著しいラジオコントロール (RC) 模型航空機の悪用**は考慮されているのだろうか？

最近の飛行制御用の送受信機はスペクトラム拡張方式を採用し、2.4GHzの周波数を送受信機間で事前に交換した特殊な符号をもとに、送信電力を広い帯域に拡散して通信する「DSSS方式」または、予め決めた周波数移動パターンのみを認識する「FHSS方式」を使うため、**妨害電波で飛行を妨害することは困難**である。

また、下図のような「クオドコプター(quad-copter)」と呼ばれる航空機では、GPS、3軸制御ジャイロ、電波高度計で構成される**自動操縦装置を備えており**、いったん離陸すると相当は強風下においても自動ホバリングも可能で、加えてGPSに入力した緯度・経度に向かって自動的に飛行可能である（従来のように操縦技能は不要）。また、高性能の電動モータと高い容量のリチウム・ポリマー電池を使用するため**対空時間は10分以上、飛行音は殆ど聞こえない。7kg程度の爆物の掲載も可能である。核セキュリティ上の大きな脅威であることは間違いない。**